

DMG森精機株式会社

2018年度第3四半期

決算説明資料

2018年11月7日

下記リンク先をクリックし、動画をご覧ください。

1. JIMTOF2018「DMG MORI会場設営風景」

2. DMG MORI SAILING TEAM

『Vendée Globe 単独・無寄港・無補給の世界一過酷なヨットレース』

出典：daily motion Vendée Globe公式アカウント

1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. 取り組み

- ✓ ALXシリーズ販売開始
- ✓ 大型展示会
- ✓ 自動化、デジタル化推進
- ✓ 教育 / 研究機関との取り組み
- ✓ 働き方改革

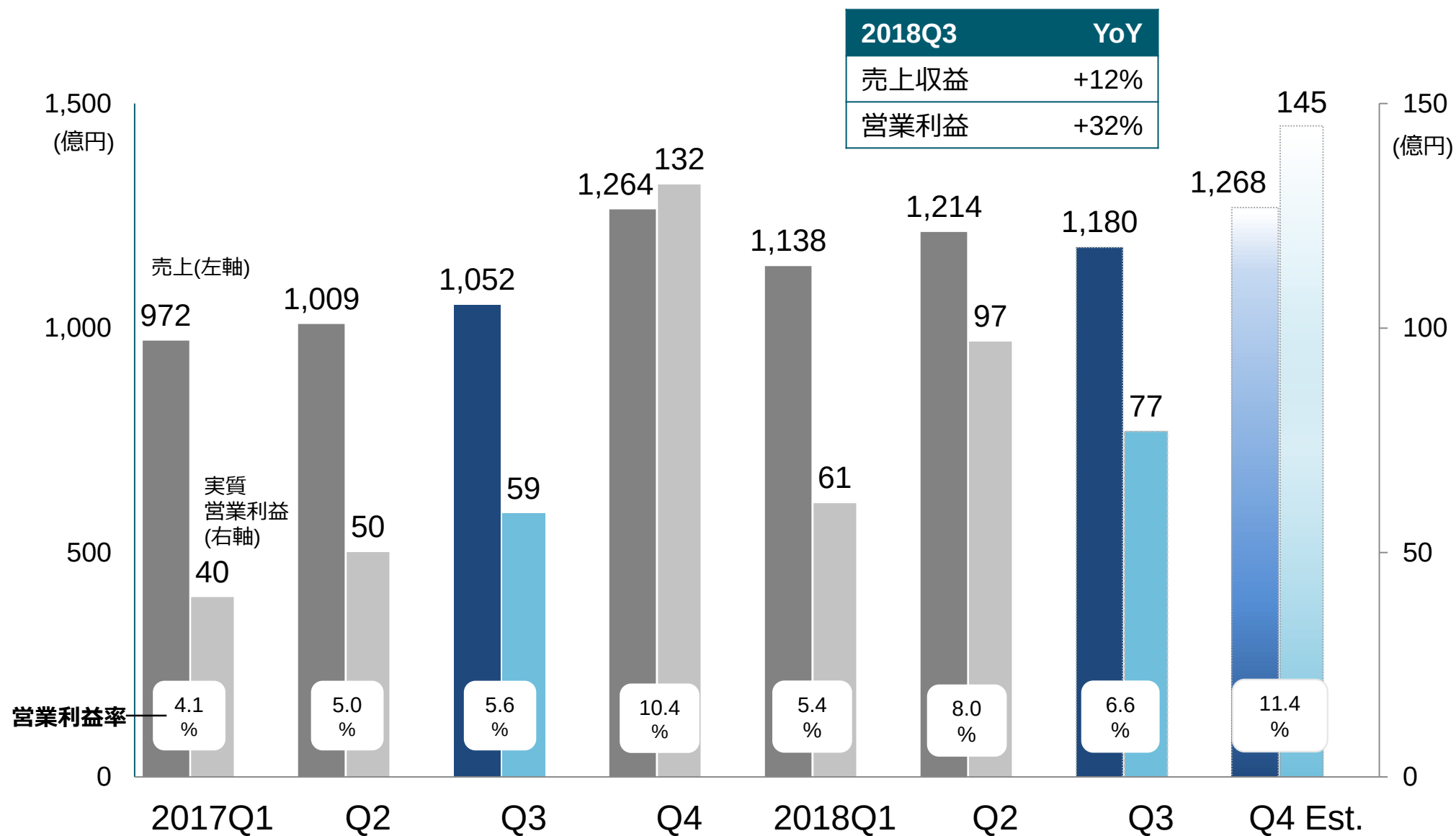
4. 2019年度重点施策

- ✓ 1-9月工作機械関連受注 3,844億円 (14%増)
- ✓ 1-9月受注単価 35.1百万円 (8%増)
- ✓ 大型展示会IMTS、AMB、BIMUで自動化、Technology Cyclesの注目度大
- ✓ オートメーション事業拡大、1-9月自動化受注比率24%へ上昇
- ✓ 1-9月営業利益 235億円 (58%増)
- ✓ フリーキャッシュフロー 225億円 (前年同期実績 36億円)
純有利子負債 932億円 (2017年12月末残高 1,057億円)
- ✓ 2018年度の工作機械関連の受注金額目標を4,900億円へ(従来4,800億円)

2018年 第3四半期累計(1-9月) 決算概要

DMG MORI

(億円)	第3四半期累計(1-9月)		増減	2018年度予想	
	2017年	2018年	(%)	従来予想	今回予想
全社受注額				5,100	5,200
(内、工作機械関連受注額)	3,360	3,844	+14%	4,800	4,900
売上収益	3,033	3,532	+16%	4,700	4,800
営業利益	149	235	+58%	380	380
営業利益率	4.9%	6.7%		8.1%	7.9%
金融収支	-32	-36		-50	-50
(うち、ドミネーション・アグリーメント に伴う経済補償額)	(-15)	(-16)		(-20)	(-20)
税引前利益	117	201	+71%	330	330
当期利益	71	137	+92%	230	230
親会社所有者帰属利益	68	134	+95%	220	220
償却費	134	135		185	185
設備投資額	64	100		120	120
USD/JPY	111.9	109.6		110.0	110.0
EUR/JPY	124.6	131.0		130.0	130.0

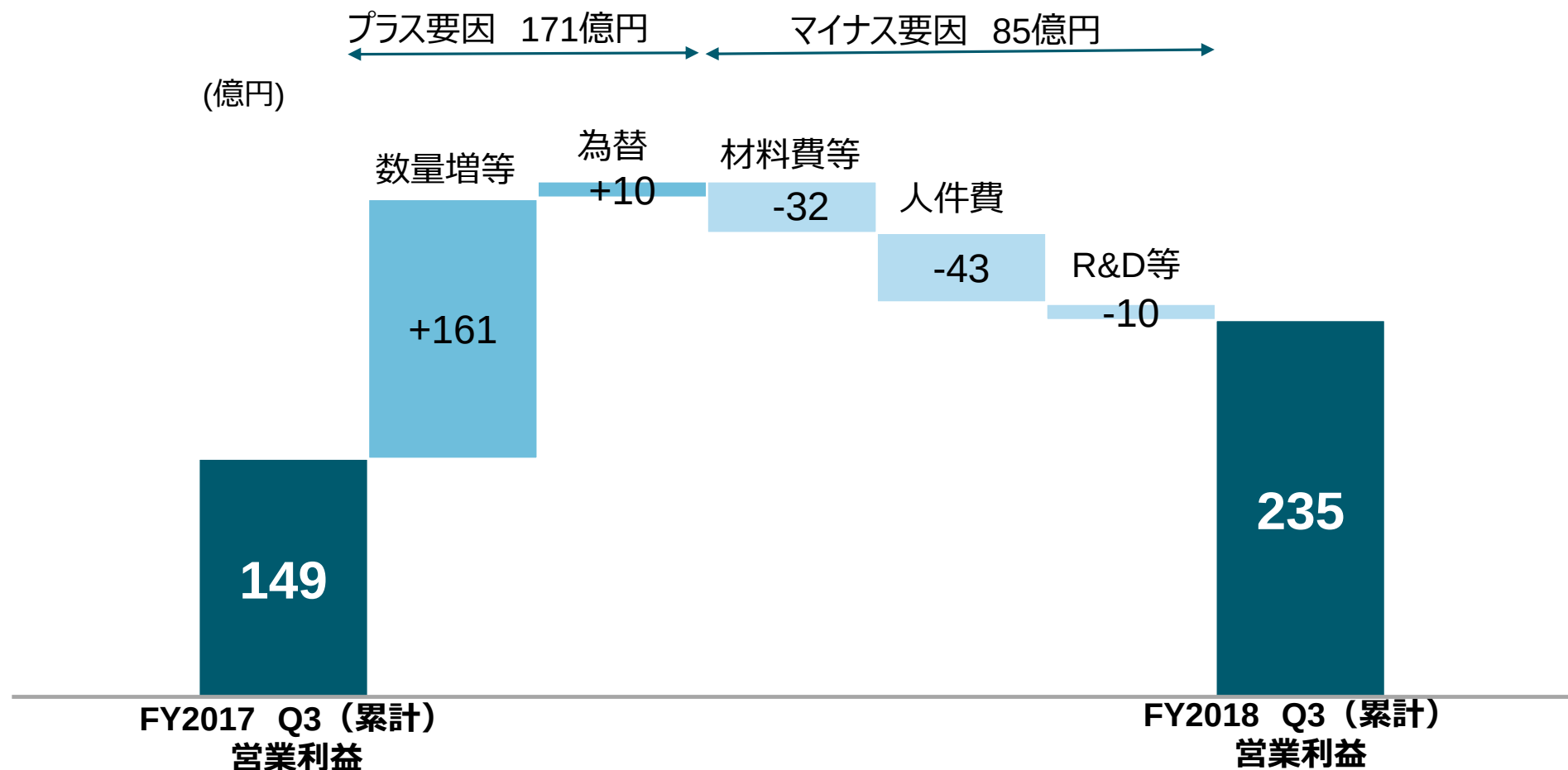


2018年度 第3四半期累計 営業利益増減分析 -対前年同期

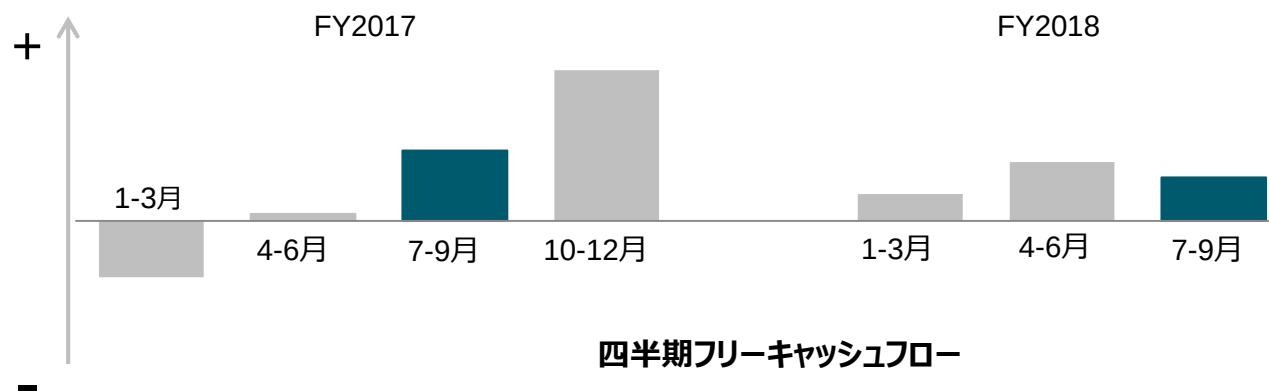
DMG MORI

(億円)	FY2017 Q3	FY2018 Q3	増減
売上高	3,033	3,532	+500
数量増			+374
為替			+106

	2017.Q3	2018.Q3
為替レート：USD/円	111.9	109.6
EUR/円	124.6	131.0



(億円)	FY2017					FY2018			
	Q1	Q2	Q3	Q4	FY	Q1	Q2	Q3	YTD
営業キャッシュフロー	-78	32	123	238	314	78	135	105	318
税引前四半期利益	29	40	47	131	248	50	87	65	201
償却費	44	45	45	50	183	45	45	45	135
運転資本増減	-69	23	42	46	41	58	18	-3	73
その他	-82	-76	-11	11	-158	-75	-15	-1	-91
投資キャッシュフロー	-21	-20	0	26	-14	-32	-31	-30	-93
(うち有形・無形資産 取得支出)	-16	-22	-26	-30	-94	-30	-37	-32	-100
フリーキャッシュフロー	-99	12	123	264	300	46	104	75	225



資産の部

	2017年12月末	2018年9月末
短期金融資産	736	280
営業債権	607	640
棚卸資産	1,230	1,459
有形固定資産	1,340	1,295
のれん	733	719
無形資産	693	667
その他資産	334	372
	5,674億円	5,432億円

負債・資本の部

2017年12月末		2018年9月末	
477		645	仕入債務
457		641	前受金
1,794		1,212	有利子負債
1,017		983	AG株式 買取債務
829		821	その他負債
581		610	株主資本
495		495	ハイブリッド資本
5,674億円		5,432億円	

Net Debt (有利子負債－短期金融資産)
(億円)

2017年12月末残高 **1,057**

2018年9月末残高 932

2018年12月末計画 850以下

AG負債資本合計(百万EUR)	2,234	2,381
期末EUR/JPYレート	135.0	132.2

1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. 取り組み

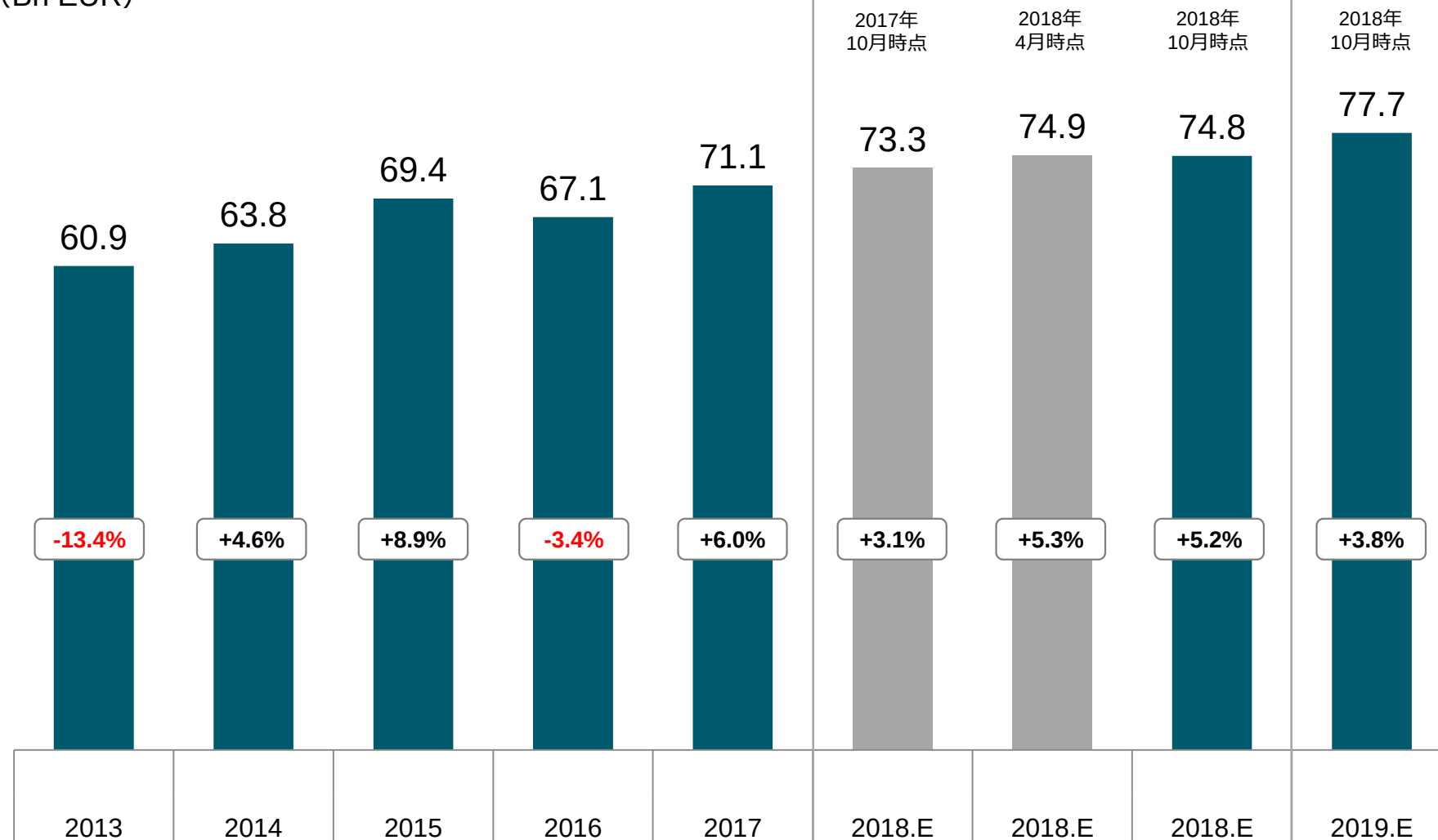
- ✓ ALXシリーズ販売開始
- ✓ 大型展示会
- ✓ 自動化、デジタル化推進
- ✓ 教育 / 研究機関との取り組み
- ✓ 働き方改革

4. 2019年度重点施策

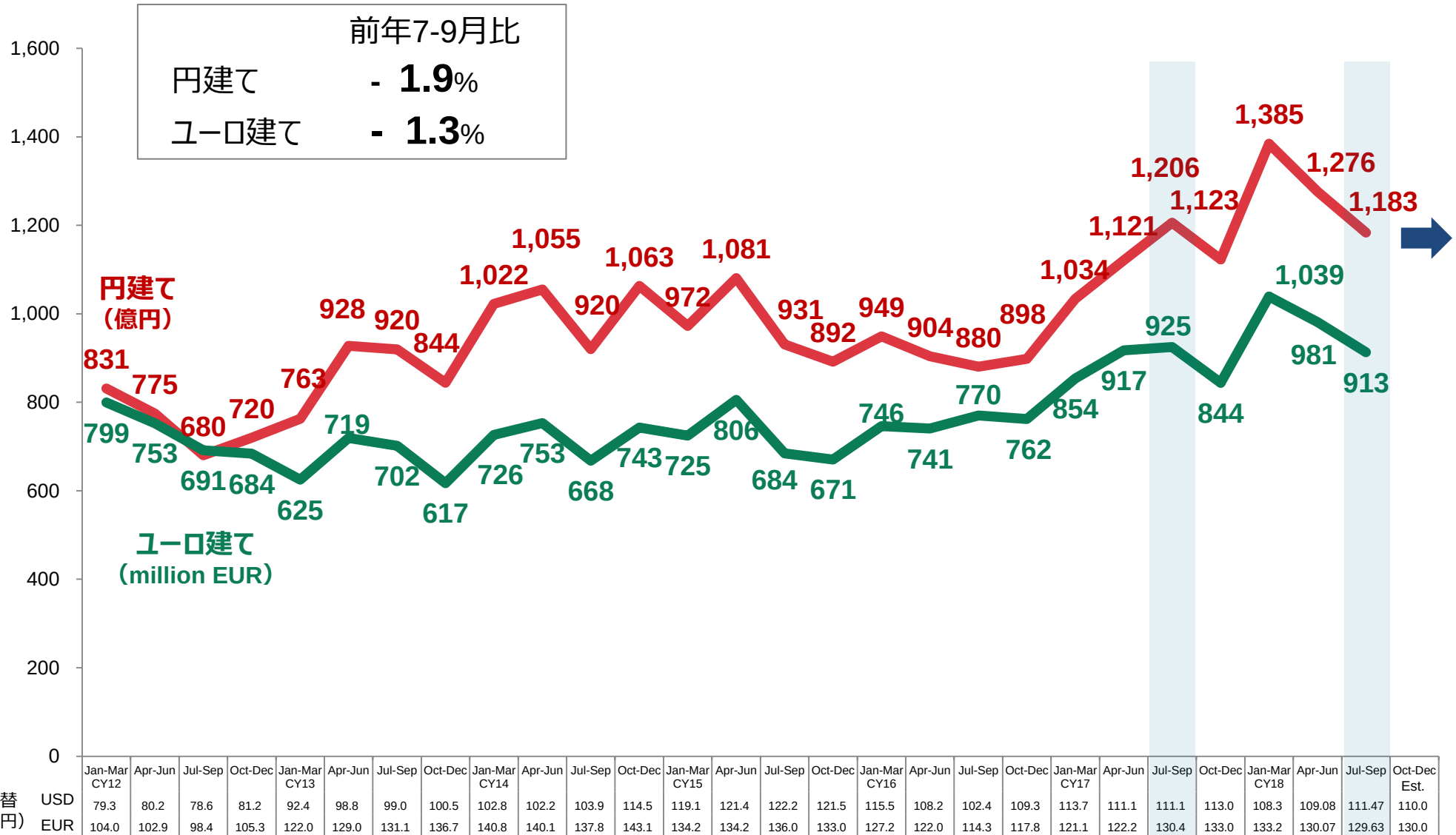
(Bn EUR)

2018年予想

2019年予想



* 出所: VDW / Oxford Economics, Oct. 2018をもとに当社作成





FY2018.Q3

日本



欧州



米州



中国



アジア
(除、中国)



FY2018.Q3

機械



自動車



SMEs



航空機



金型



エレクトロニクス



エネルギー



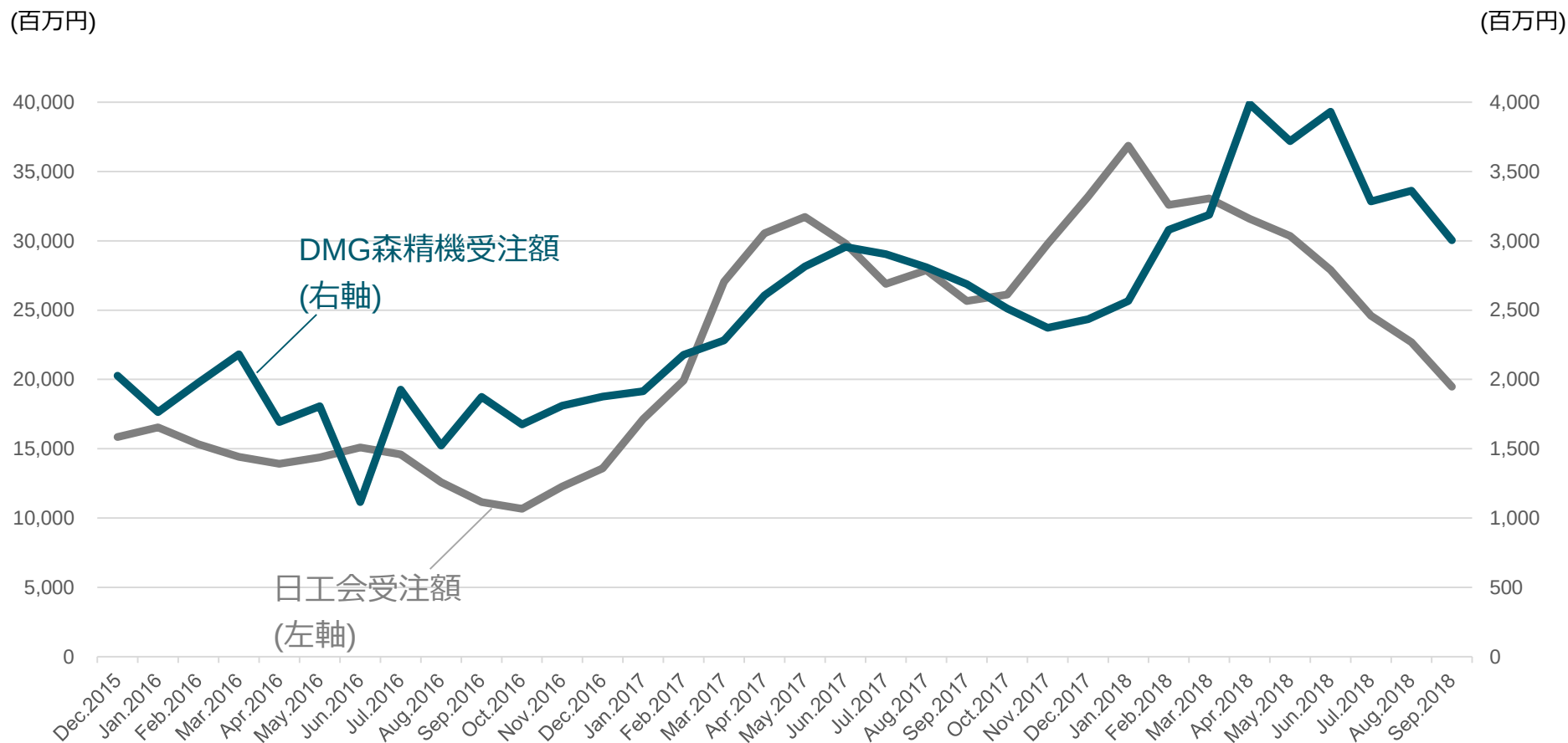
医療



建機

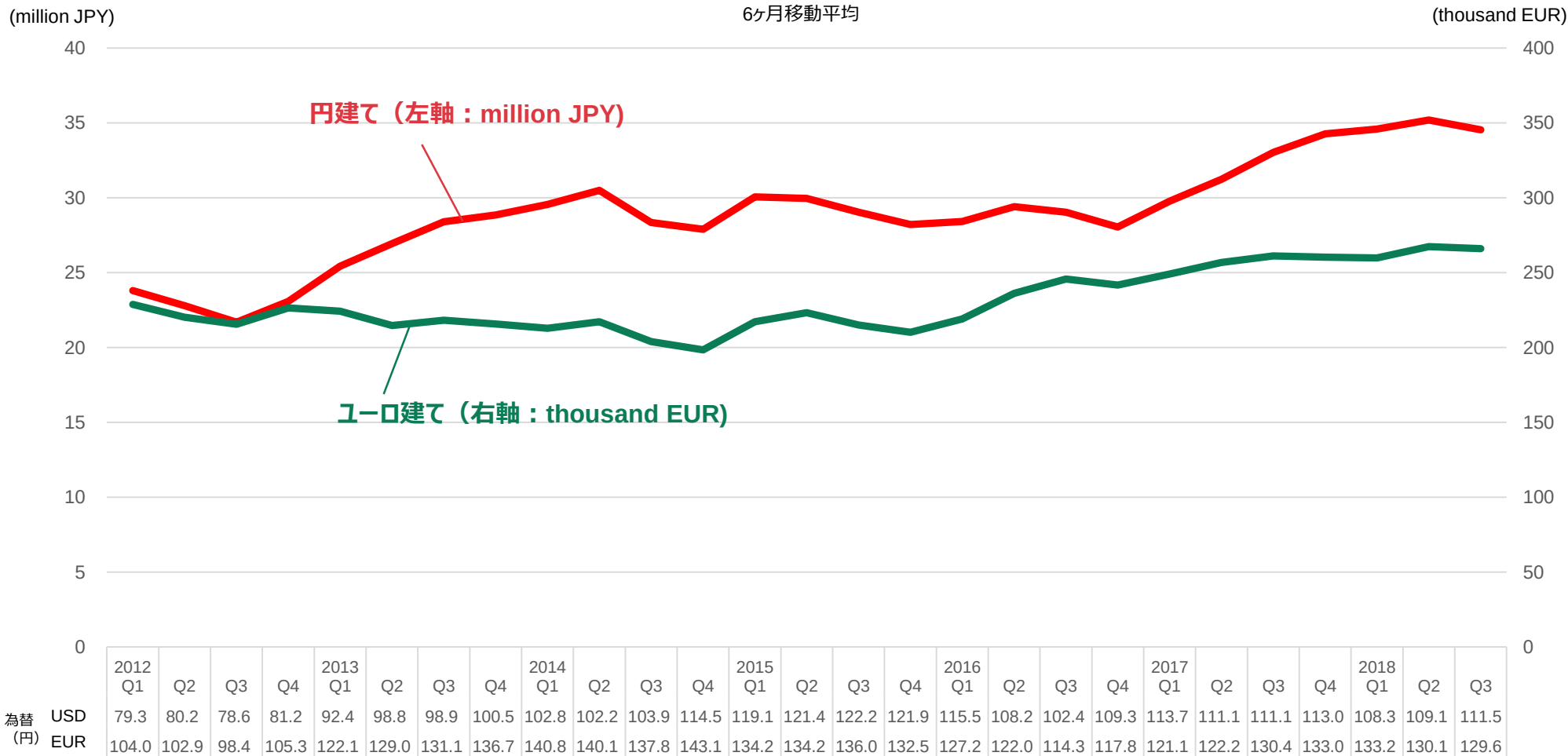


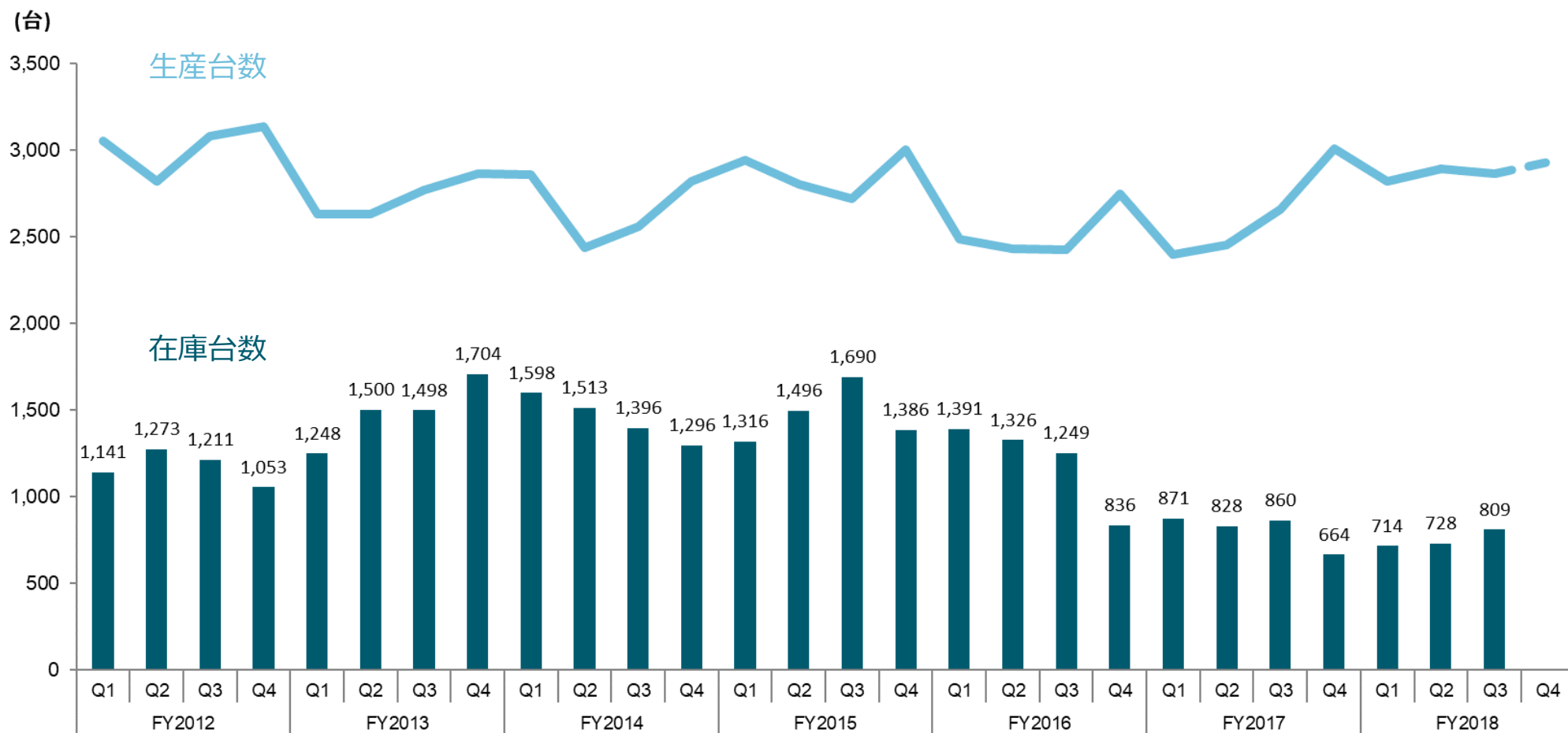
中国の受注推移 3か月移動平均



連結受注：機械本体のみ

6ヶ月移動平均



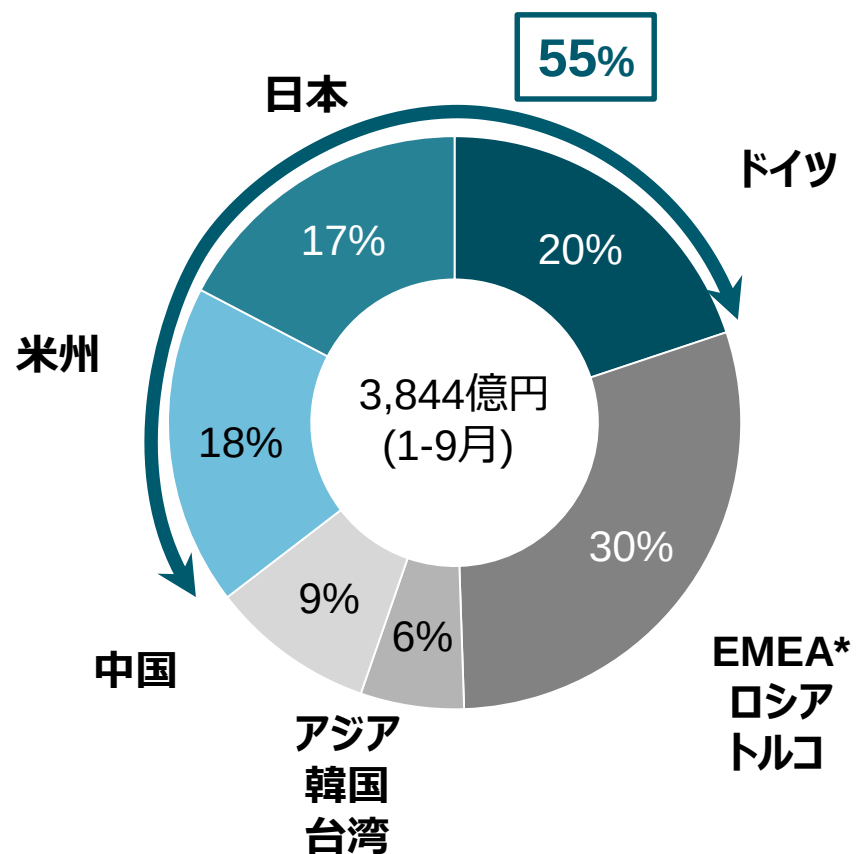
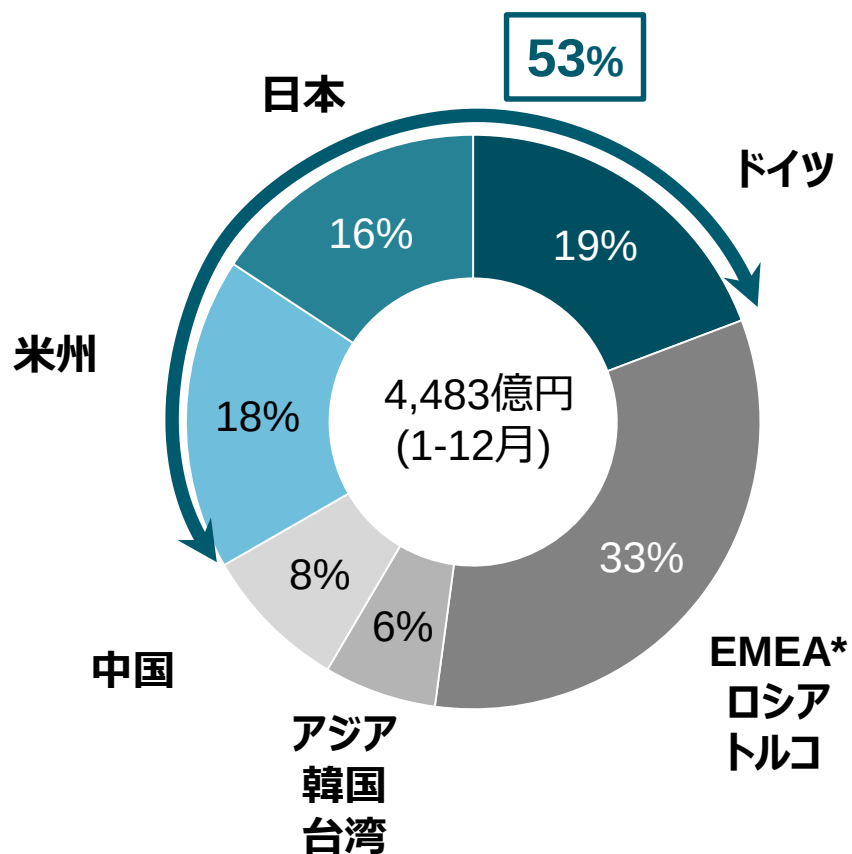


※金額ベース
※機械本体のみ

連結機械受注
FY2017.通期



連結機械受注
FY2018.第3四半期累計

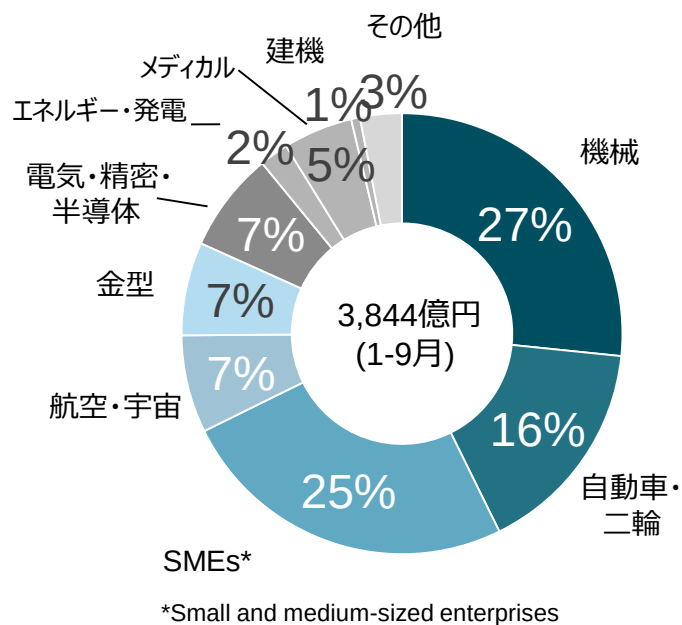


*Europe, the Middle East and Africa

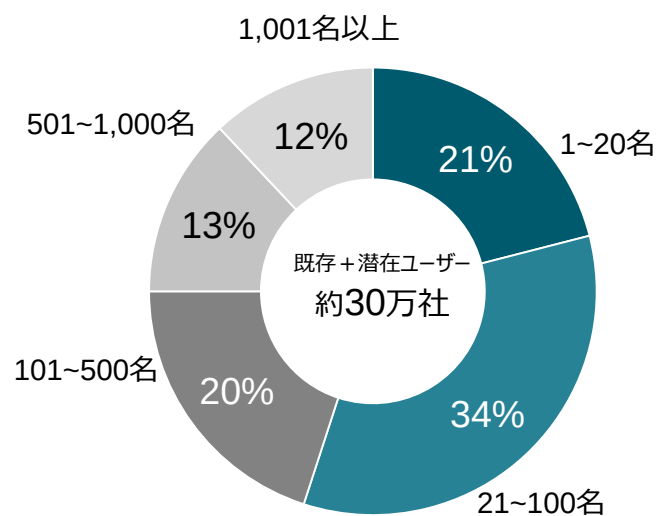
※金額ベース
※機械本体のみ

FY2018.第3四半期累計

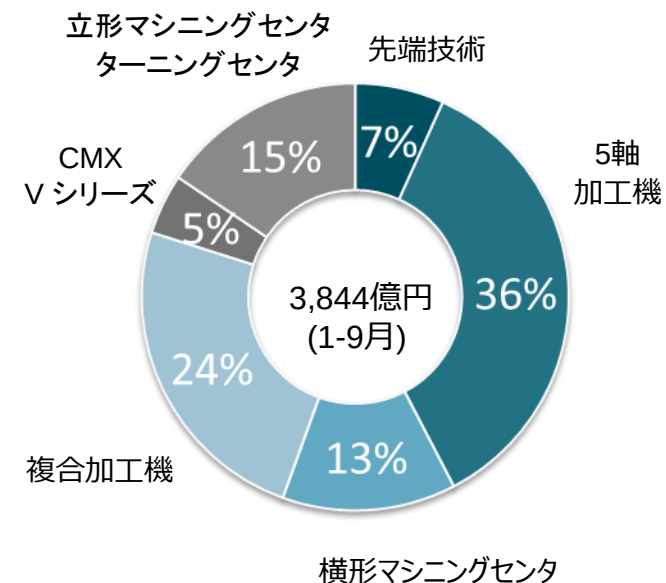
業種別



規模別



機種別



1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. 取り組み

- ✓ ALXシリーズ販売開始
- ✓ 大型展示会
- ✓ 自動化、デジタル化推進
- ✓ 教育 / 研究機関との取り組み
- ✓ 働き方改革

4. 2019年度重点施策

- 豊富なバリエーション（36機種）
- ALXのみで自動化システムや生産ラインを構築可能



ALX 2500|300
(心間 300 mm)



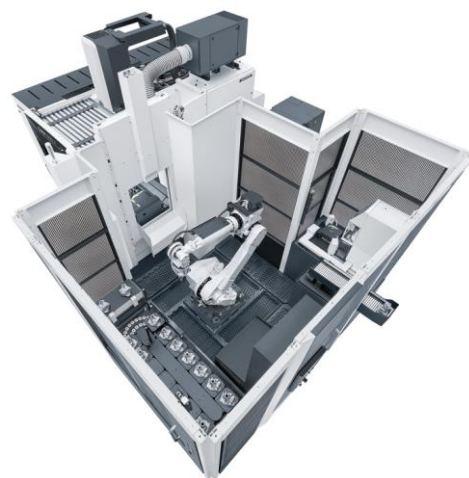
ALX 2500|500
(心間 500 mm)



ALX 2500|1000
(心間 1,000 mm)



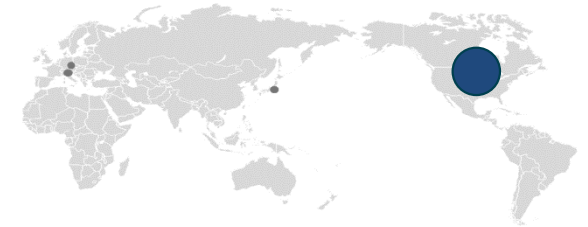
ALX 2500|2000
(心間 2,000 mm)



日程： 2018年9月10日-9月15日

平均単価： 346千ドル (前回比 +9%)

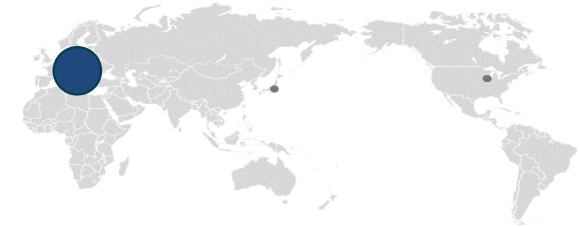
大型5軸加工機のアメリカ初披露、オートメーション提案



IMTS2018
International Manufacturing Technology Show
September 10 - 15, 2018 · McCormick Place · Chicago



日程： 2018年9月18日-9月22日
平均単価： 303千ユーロ (前回比 +11%)



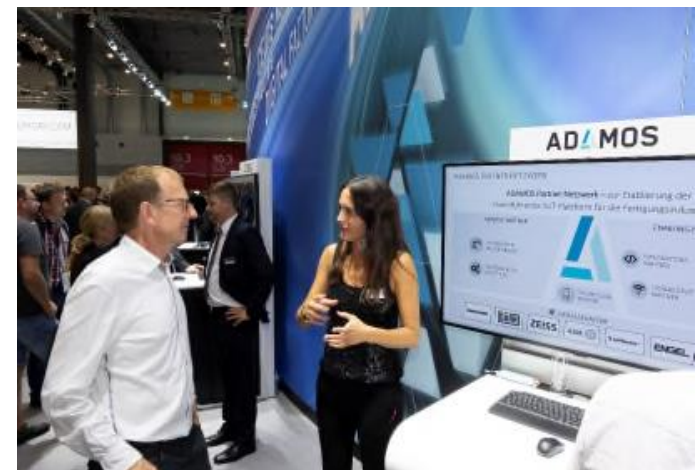
THE NEW ROBO2GO 2ND GENERATION

Flexible workpiece handling, easy to program

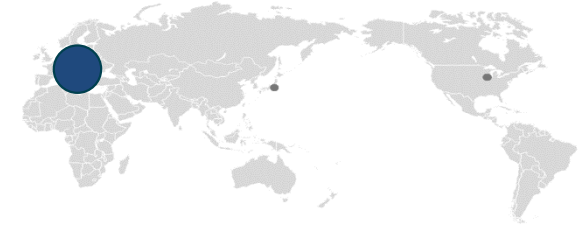
- + 6-sided complete machining
Optional counter spindle
- + User-friendly robot:
Teaching in < 15 min.
- + Fully integrated:
Only one control for both,
machine and automation



AMB
International exhibition
for metal working
18.-22.09.2018
Messe Stuttgart



日程： 2018年10月9日-10月13日
 平均単価： 319千ユーロ (前回比 +7%)



日程： 2018年11月1日-11月6日
 テーマ： DMG MORI デジタルファクトリー



1. 5軸化・複合化（工程集約）



2. 自動化



MATRISなど多数の自動化をご紹介

3. デジタル化（ステージプレゼン）



- DMG MORIコネクテッドインダストリーズ
- Messenger
- デジタルツイン
- AIソリューション

4. XXL



日本初出展の2台を展示
 - DMU 340 Gantry
 - DMU 200 Gantry

5. アディティブマニュファクチャリング



LASERTEC 30
 SLM Ge2



LASERTEC 65 3D

6. デジタルサービス



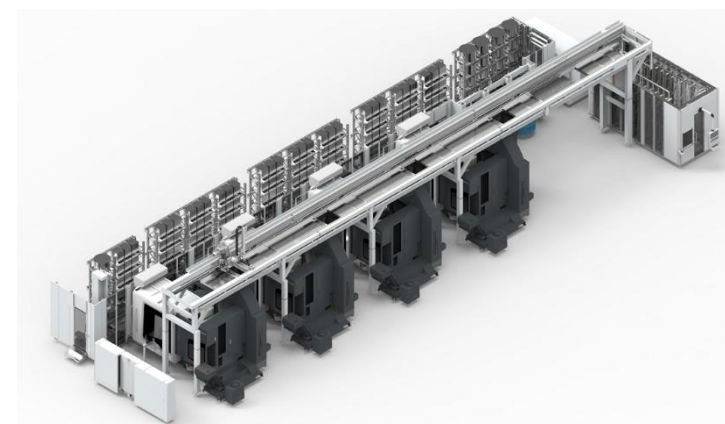
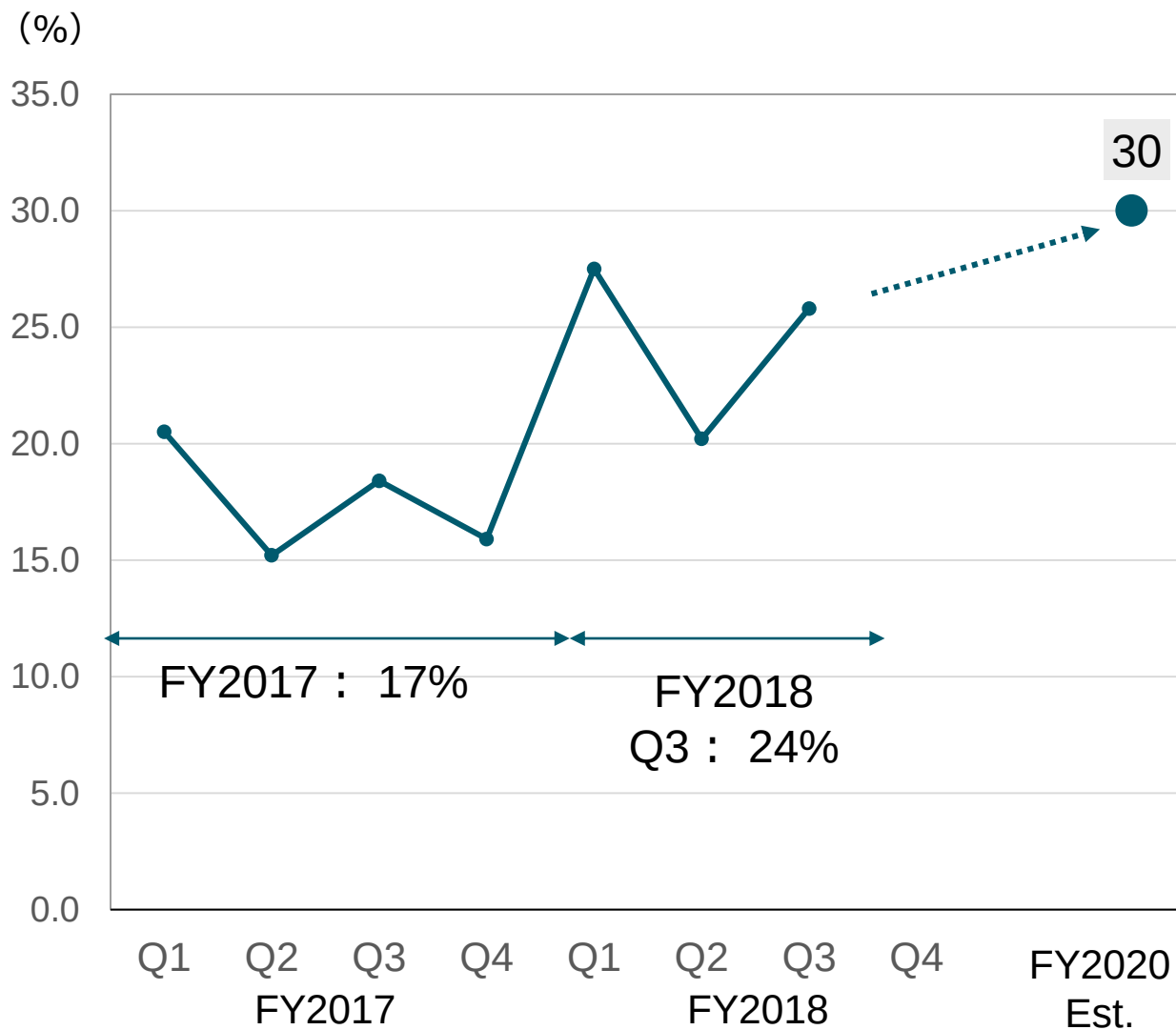
- CELOS Club
- WERKBLiQ
- トレーニング



7.



- + CELOSでつなぐ、人と機械と工場 見える化・分析・改善で生産性向上
- + 今すぐ使えるリアルなソリューションをご提案
- + 柔軟な自動化で、省人力化をご提案
- + 変種変量時代に対応する機械設備の集約×汎用化×テクノロジーサイクル
- + AIを用いた熱変位補正・デジタルツイン 最先端技術活用のご紹介





SCHAEFFLER

5 x DMU 80 eVo *linear*
With 120 tool magazine

Robot with two grippers

180 x Pallet stations
105 x Stations for special tools



Set-up stations with camera system
(developed by SCHAEFFLER)



- Industry 4.0とConnected Industriesの実証工場
- 2020年までにCLX/CMX生産2,000台、グループ内への部材供給も実現



ISTOS

生産計画

生産管理

ロジスティクス **DMG MORI** 在庫管理
SOFTWARE SOLUTIONS



メンテナンス

WERKBLiQ



□ Face-to-Faceミーティングがグローバル開発を加速



開催概要

開催数	第 5 回
場所	FAMOT (ポーランド)
参加者	198名 12ワークグループ
成果	- 機種統合や共通化 - CAM/デジタルプログラミングの推進 - 周辺機器 (DMQP) の拡充 - デジタルツインの推進 - 自動化の推進



MTTRF *Machine Tool Technologies
Research Foundation*

MACHINE TOOL TECHNOLOGIES RESEARCH FOUNDATION (MTTRF)

- ✓ 革新的な工作機械の研究に関わる人財育成に助成
- ✓ 2018年7月サンフランシスコにて総会
- ✓ 大学及び公的機関向け工作機械の寄贈を継続

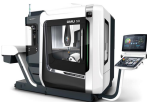


THE INTERNATIONAL ACADEMY FOR PRODUCTION ENGINEERING (CIRP)

- ✓ 最先端の生産加工技術に関する学会
- ✓ 2018年8月東京総会にプラチナスポンサーとして協賛
- ✓ ターニングセンタの熱変位補正等について発表

全国70社のお客様に5軸加工機「DMU 50 3rd Generation」貸し出し

✓ 既に30台貸出済み

✓  **70台貸出** × プライベート
× レッスン **30回** × 参加人数 **5人** = **5軸機**
オペレーター養成
10,000人以上

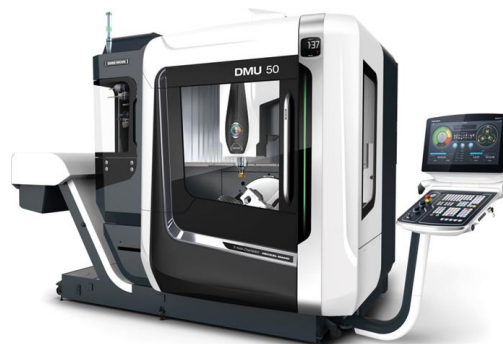
✓ 豊富なQ&A集から5軸加工の革新的教科書作成



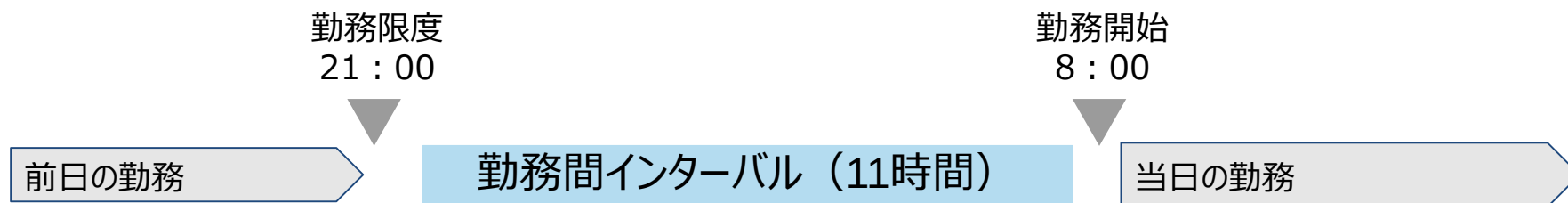
奈良県との包括連携協定による無償貸与（2年間）

✓ 奈良朱雀、御所実業、王寺工業高校へ
5軸加工機、ターニングセンタ計6台

✓ 奈良県産業振興総合センターへ
超音波振動加工機



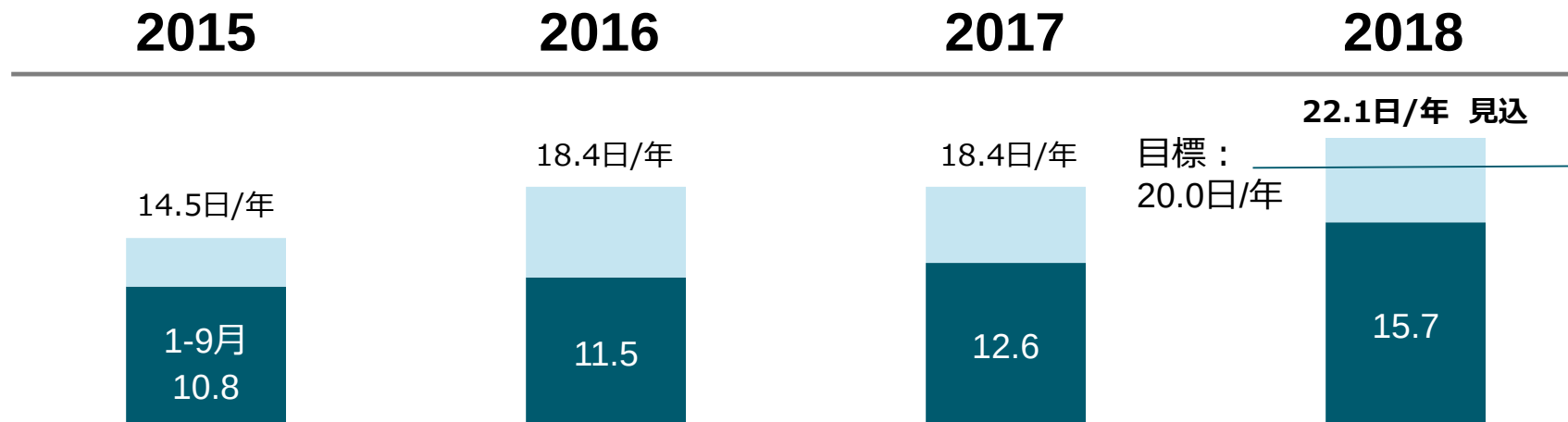
勤務間インターバル制の実施（2018年8月～）



2019年1月より勤務間インターバルを12時間に延長

有給休暇取得日数（日本雇用社員：1人あたり平均）

※1人あたり支給日数を20日/年に換算した場合の取得日数



1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. 取り組み

- ✓ ALXシリーズ販売開始
- ✓ 大型展示会
- ✓ 自動化、デジタル化推進
- ✓ 教育 / 研究機関との取り組み
- ✓ 働き方改革

4. 2019年度重点施策

- ✓ 多軸化、デジタル化、素材の多様化、積層造形技術など10年に一度の変化に対応し、2020年以降にステップアップ
- ✓ 伊賀、ミュンヘン、米国のグローバルパーツセンターの充実にAI技術を合わせ、サービスの客様満足度を向上
- ✓ 日独に始まる多様性を活かし、販売、エンジニアリング、サービスの直接提供でお客様のグローバル展開に貢献
- ✓ Net Debt/Equity Ratio 0.5倍以下の目途が付き、AM、CAD/CAM、教育システム等への投資機会を模索
- ✓ 働き方改革と同時に社員への投資を拡大し、さらなる能力向上を実現
- ✓ 2019年度連続増配を目指す 中長期的にも、継続的な増配を目標とする。

	2018年度予想		2019年度予想
工作機械関連 受注額	4,900億円	▶	5,000億円
売上収益	4,800億円	▶	5,000億円
営業利益	380億円	▶	400億円以上
営業利益率	7.9%	▶	8%以上
配当	50円/年	▶	増配目標
為替	USD 110円/EUR 130円	▶	USD 110円/EUR 130円

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更